

科目名	応用生活支援技術Ⅰ（高齢者）【介護福祉コース】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	深 川 友 子						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	必修（介護）
授業の概要 及びねらい	加齢に伴う心身の変化、高齢者の心身の特徴、高齢者の生活についてを概説し、自立支援の視点で、安全・安楽な生活支援の方法について説明し、実技の指導をする。支援を行う上で利用者の尊厳が護られているか、常に問いかけながら、指導するとともに支援者（介護者）の倫理について確認する。						
授 業 の 到達目標	1) 加齢による心身の変化及び高齢者の心身の特徴を理解する。 2) 高齢者の生活実態を考えることができる。 3) 高齢者に発症しやすい病気、高齢者に起こりやすい事故（日常生活のなかで）のアセスメントをし、その対応策を考えることができる。 4) 心身の状態観察の方法を理解する。 5) 日常生活動作の支援に必要な基本的な支援技術を習得する。 6) 生活支援に必要な福祉用具を適切に使用でき、また使用方法について説明（指導）できる。 7) 他職種との連携・協働のあり方を理解する。						
学習方法	基礎知識の講義、実技演習、グループ討議・発表、視聴覚教材の視聴、事前学習としてレポート作成・演習記録をすることを通して学習する。						
テキスト及び参考書等	新・介護福祉士養成講座 中央法規出版「生活支援技術Ⅰ」第6巻・「生活支援技術Ⅱ」第7巻・必要時資料配布						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎		◎		50	
小テスト等	○					10	
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎			10	
授業態度			◎	◎		10	
受講者の発表	○			◎		10	
授業への参加度			◎			10	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	高齢者疑似体験し、高齢者の身体状況を体感する。						
第 2 週	加齢による心身の変化及び高齢者の心身の特徴を理解する。						
第 3 週	高齢者に発症しやすい病気、日常生活のなかで起こりやすい事故をアセスメントし、対応策を考える。						
第 4 週	心身の観察技術を理解し、観察を疑似体験する。						
第 5 週	日常生活動作を確認し、移動の支援技術を事例演習を通して習得する。						
第 6 週	日常生活動作を確認し、移動の支援技術を事例演習を通して習得する。						
第 7 週	身じたくの支援技術を、事例演習を通して習得する。						
第 8 週	身じたくの支援技術を、事例演習を通して習得する。						
第 9 週	排泄の支援技術を、事例演習を通して習得する。						
第 10 週	排泄の支援技術を、事例演習を通して習得する。						
第 11 週	清潔の保持の支援技術を、事例演習を通して習得する。						
第 12 週	清潔の保持の支援技術を、事例演習を通して習得する。						
第 13 週	食事の支援技術を、事例演習を通して習得する。						
第 14 週	食事の支援技術を、事例演習を通して習得する。						
第 15 週	まとめ（筆記試験を行う）、高齢者の生活支援技術の視点、基本を説明することができる。						
第 16 週	実技試験を受け、生活支援技術の習得状況を自己・他者評価し、今後の学習課題を明確にする。						
備 考	技術習得のため継続受講が必須である。そのためには、自身の心身の健康管理が重要であり、他者との良好なコミュニケーションが求められる。						